元気一番!商店街

2014.11

1 はじめに

冬が近づき、朝晩が冷え込む季節となりましたが、皆様いかが お過ごしでしょうか。

現在「大阪商店街にぎわいキャンペーン」の一環で、12月末まで市内各地の商店街で「にぎわいイベント」が実施されています。

「元気一番!商店街」でも、様々な活動を通じて魅力ある商店街づくりに向けた、「元気な取組み」を行う商店街の情報をお伝えしていきたいと思っておりますので、引き続きご愛読をよろしくお願いします。



2 出来島商店会(西淀川区)

さて、本号では、阪神なんば線の出来島駅を降りてすぐ、駅を中心に東西に広がる「出来島商店会(西淀川区)」に伺い、商店会の取組みに加え、会長がお勧めするお店「ゆうせい薬局」を取材してきました。

(1) 商店街活性化への取組み

出来島商店会は、近隣住民から駅前の商店街として長年親しまれてきた商店街です。これまで、活性化に向けた様々な取組みを行ってきており、近年では、買い物の場としてだけでなく、地域に根ざした活動にも力を入れて取り組んでいます。

最近のユニークな取組みでは、近隣の府立西淀川高校と連携して行う「よってこい出来島!エコフェア」があります。これは、身近に始められるエコ活動の紹介を中心としたイベントで、毎回多くの方々が参加されます。また、通年で「使用済みてんぷら油」の回収にも取り組んでいます。商店街内4箇所の「廃油回収所」では、持ち込まれた廃油と交換で、廃油から作られたハンドソープを配っており、地域との交流を深めながら環境意識の向上に貢献しています。

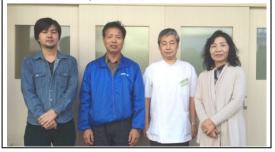






(2) 出来島商店会会長へのインタビュー

(左から)関谷副会長、井原会長、小西理事、 出来島販促委員長



出来島商店会の会長の井原さんと販促委員長の出来島さんに、商 店街の取組み等について伺いました。

「出来島商店会は、かつては大きな賑わいを見せる商店街でした が、バブル崩壊後は多くの個店が廃業していきました。しかし、そ のような中でも、商店街の活性化に向けた取組みを続けてきた結果、 近年では会員も増え、若い店主さんも新たに開業されています。

商店会の取組みでは、長年続いているエコ活動のほか、地域との連携にも力 を入れています。例えば、地域に協力してもらい、商店街のチラシを回覧板で 広報してもらう一方で、商店街に設置した掲示板では地域の情報も掲示してい ます。また、地域活動協議会とも様々に連携しており、なかでも、子どもみこ しは回を重ねるにつれて参加者が多くなる人気の行事になっています。

近隣との繋がりが深まっていく中で、地域全体が明るくなったと感じていま す。これからも、近隣地域への感謝の気持ちを大切に取り組み続けていきます。」 役員さん同士の結束も大変強いようで、この他にも紹介しきれないほどたく さんの取組みをされており、とても力強い印象を受ける商店会でした。

近隣地域の情報も広報されています 出来島商店会



商店街の各所に設置されたプラン ターは、西淀川高校の生徒さんが 協力してくれたものです



「ゆうせい薬局」

店主の小西さん

店舗の様子



商店街の中ほど、駅の東側すぐに「ゆうせい薬局」があります。ゆう せい薬局本店(昭和29年創業)の出来島支店としてこの地に開業され、 現在の店主の小西さんで2代目となります。

「開業当初から『お客様に身近なお店でありたい』という理念のもと、 様々なサービスを取り入れてきました。例えば、待ち時間を快適に過ごし てもらい、普段からも気軽に立ち寄って頂けるように、待合スペースをリ ラックス出来る空間にしています。また、単に薬の調剤にとどまらず、食 事や生活習慣についてのアドバイスなどの健康相談も承っています。今に 至るまでには失敗した取組みもありますが、新しいことに挑戦し、変化し

続けることが大切であると考えています。」 横々な工夫が施された待合スペース

最近では、ご来店が難しい近隣のお客様のために、薬を直接お宅まで配達す るサービスが大変好評だそうで、今後も続けていきたいとのことでした。

「これからも、近隣のお客様の『かかりつけ薬局』として頼りにされる存在 であり続けることで、皆さんの健康に貢献していきたいと思います。」

